

**研究拠点形成事業
平成25年度 実施計画書**

B. アジア・アフリカ学術基盤形成型 (※)
(※ 該当しない交流形態を削除してください。)

1. 拠点機関

日本側拠点機関：	京都大学野生動物研究センター
相手国の拠点機関：	タンザニア野生動物研究所
() 拠点機関：	

2. 研究交流課題名

(和文)：西部タンザニアにおける野生動物保全研究
(交流分野：基礎生物学)

(英文)：Study for wildlife conservation in the Western Tanzania
(交流分野：Basic Biology)

研究交流課題に係るホームページ：<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>

3. 採用期間

平成25年4月1日 ～ 平成28年3月31日

(1 年度目)

4. 実施体制

日本側実施組織

拠点機関：京都大学野生動物研究センター

実施組織代表者 (所属部局・職・氏名)：野生動物研究センター・センター長・幸島司郎

コーディネーター (所属部局・職・氏名)：野生動物研究センター・教授・伊谷原一

協力機関：

事務組織：京都大学野生動物研究センター事務掛

相手国側実施組織 (拠点機関名・協力機関名は、和英併記願います。)

(1) 国名：タンザニア連合共和国

拠点機関：(英文) Tanzania Wildlife Research Institute

(和文) タンザニア野生動物研究所

コーディネーター (所属部局・職・氏名)：(英文) Department of Research・Director・

KEYYU Julius

協力機関：(英文) Tanzania National Parks

(和文) タンザニア国立公園局

経費負担区分 (A 型) :

(2) 国名 :

拠点機関 : (英文)

(和文)

コーディネーター (所属部局・職・氏名) : (英文)

協力機関 : (英文)

(和文)

経費負担区分 (A 型) :

5. 全期間を通じた研究交流目標

本研究では、多様な動植物に恵まれている西部タンザニアにおいて、日本およびタンザニアを中心とした研究チームによる長期研究体制を確立し、野生動物の基礎研究を推進すること、ならびにそうした基礎研究から得られた成果をもとにこれらの野生動植物を効果的かつ持続的に保全する具体的計画を立案し提言することを目標とする。

現在は西部タンザニアにおいてはタンザニア人研究者による野生動物研究がほとんどなされていないのが実情であるが、この地で長期研究を継続してきた日本人研究者の指導の下、タンザニア人研究者や学生ら自身が主体的に研究を展開できる土壌を整え、タンザニア野生動物研究所 (以下 TAWIRI) と京都大学野生動物研究センター (以下 WRC)、およびそれぞれの関連研究機関との間の有機的ネットワークを拡充し、強化する。

6. 前年度までの研究交流活動による目標達成状況

「平成 25 年度から開始」

7. 平成 25 年度研究交流目標

WRC は国内及び海外の研究機関との研究協力や人材交流を強化する。TAWIRI はタンザニア国内の研究機関との研究協力や人材交流を働きかける一方で、近隣諸国研究機関との研究交流も図る。その上で、WRC と TAWIRI 間の情報交換、共同研究、研究交流を推進し、今年度中に両者間の長期的な「研究協力体制の構築」の確立を目指す。

生物多様性保全が国際的急務になっている現在、特異的な環境を有する西部タンザニアにおいて多彩な野生動物の生態や行動に関する基礎研究は不可欠である。したがって、「学術的観点」からも本研究に早急に着手することが求められる。

本事業では、日本の若手研究者に海外フィールドで必要な研究手続きをマスターさせると共に、フィールド研究の実地体験や収集資料の分析方法を指導する。タンザニアの若手研究者に対しては、日本においてフィールド研究の基本を実践的に指導する。これ

らを通じて、継続的かつ効果的な「若手研究者育成」プログラムを構築する。

8. 平成25年度研究交流計画状況

8-1 共同研究

—研究課題ごとに作成してください。—

整理番号	R-1	研究開始年度	平成25年度	研究終了年度	平成27年度
研究課題名	(和文) 西部タンザニアにおける野生動物保全研究 (英文) Study for wildlife conservation in the Western Tanzania				
日本側代表者 氏名・所属・ 職	(和文) 幸島司郎・京都大学野生動物研究センター・センター長 (英文) Shiro Koshima・Wildlife Research Center, Kyoto University・ Director/Professor				
相手国側代表 者 氏名・所属・ 職	(英文) Allan Kijazi・Tanzania Wildlife Research Institute・Director General				
参加者数	日本側参加者数	5名			
	(タンザニア)側参加者数	3名			
	()側参加者数	名			
25年度の 研究交流活動 計画	京都大学野生動物研究センターから西部タンザニアに研究者・若手研究者 5名を派遣し、30日間の予定で野生動物を対象としたフィールド調査を行う。 また、タンザニア野生動物研究所において、今後の研究計画や方針について 話し合う。タンザニア野生動物研究所からは研究者3名を京都大学野生動物 研究センターに招聘し、10日間の予定で国内野外研究施設や設備を用いて、 実践を通じたフィールド研究の基礎指導を行う。				

<p>25年度の 研究交流活動 から得られる ことが期待さ れる成果</p>	<p>タンザニアにおけるフィールドでの共同研究を通じ、得られた情報を基にしたデータベースの開発と個体群動態の長期モニタリング体制の基盤が確立される。また、日本、タンザニア双方において、独自の若手研究者育成プログラムが推進されると共に、日本人若手研究者のフィールド経験値、語学力、交渉力が向上する。</p>
--	--

8-2 セミナー

—実施するセミナーごとに作成してください。—

整理番号	S-1
セミナー名	(和文) 日本学術振興会研究拠点形成事業「野生動物保全研究の現状と課題」 (英文) JSPS Core-to-Core Program “Current states and problems of the study for wildlife conservation“
開催期間	平成 25 年 5 月 22 日 ~ 平成 25 年 5 月 24 日 (3 日間)
開催地 (国名、都市名、会場名)	(和文) 日本、京都市、京都大学大学院理学研究科セミナーハウス (英文) Seminar House of Graduate School of Science, Kyoto University
日本側開催責任者 氏名・所属・職	(和文) 伊谷原一・京都大学野生動物研究センター・教授 (英文) Gen'ichi Idani・Wildlife Research Center, Kyoto University・Professor
相手国側開催責任者 氏名・所属・職 (※日本以外での開催の場合)	(英文)

派遣先 派遣		セミナー開催国 (日本)
日本 〈人／人日〉	A.	28 / 84
	B.	30
タンザニア 〈人／人日〉	A.	3 / 9
	B.	
〈人／人日〉	A.	
	B.	
合計 〈人／人日〉	A.	31 / 93
	B.	30

参加者数

- A. 本事業参加者 (参加研究者リストの研究者等)
- B. 一般参加者 (参加研究者リスト以外の研究者等)

セミナー開催の目的	国内外の多分野の研究者が参加するセミナーを開催し、さまざまな地域における野生動物の保全研究に関する現状と課題について情報の収集と意見交換を行う。																				
期待される成果	多分野の研究者が集い議論することで、世界中の野生動物保全研究について学際的な知見を広めるとともに、今後の本事業の方針や展望について検討することができる。																				
セミナーの運営組織	日本側開催責任者と日本側拠点機関所属の研究者が本セミナーの企画・運営を行う。また、セミナーの実施にあたっては、日本側の若手研究者や事務担当者が実務をサポートする。																				
開催経費 分担内容 と概算額	日本側	内容	<table border="0"> <tr> <td>国内旅費</td> <td>金額</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>外国旅費</td> <td></td> <td>1,200,000 円</td> </tr> <tr> <td>謝金</td> <td></td> <td>100,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td>消費税等</td> <td></td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,445,000 円</td> </tr> </table>	国内旅費	金額	30,000 円	外国旅費		1,200,000 円	謝金		100,000 円	その他		50,000 円	消費税等		65,000 円		合計	1,445,000 円
	国内旅費	金額	30,000 円																		
	外国旅費		1,200,000 円																		
謝金		100,000 円																			
その他		50,000 円																			
消費税等		65,000 円																			
	合計	1,445,000 円																			
() 側	内容																				
() 側	内容																				

8-2 セミナー

—実施するセミナーごとに作成してください。—

整理番号	S-2
セミナー名	(和文) 日本学術振興会研究拠点形成事業「タンザニアにおける野生動物保全研究」 (英文) JSPS Core-to-Core Program “Study for wildlife conservation in Tanzania“
開催期間	平成 25 年 12 月 5 日 ～ 平成 25 年 12 月 6 日 (2 日間)
開催地 (国名、都市名、会場名)	(和文) タンザニア、アルーシャ、タンザニア野生動物研究所 (英文) Tanzania, Arusha, Tanzania Wildlife Research Institute
日本側開催責任者 氏名・所属・職	(和文) 伊谷原一・京都大学野生動物研究センター・教授 (英文) Gen'ichi Idani・Wildlife Research Center, Kyoto University・Professor
相手国側開催責任者 氏名・所属・職 (※日本以外での開催の場合)	(英文) KEYYU Julius・Tanzania Wildlife Research Institute・Director of Research

派遣先 派遣		セミナー開催国 (タンザニア)
日本 〈人／人日〉	A.	5/ 10
	B.	5
タンザニア 〈人／人日〉	A.	7/ 14
	B.	30
〈人／人日〉	A.	
	B.	
合計 〈人／人日〉	A.	12/ 24
	B.	35

参加者数

- A. 本事業参加者 (参加研究者リストの研究者等)
- B. 一般参加者 (参加研究者リスト以外の研究者等)

セミナー開催の目的	タンザニアにおける本事業研究について、その進捗状況及び同国他地域での研究と比較検討を行う。また、次年度の方針についても検討する。		
期待される成果	本セミナーは、相手国研究機関の定例シンポジウムに連続した日程で開催する。そうすることで質・量ともにより大きな成果が得られると共に、次年度以降の計画に向けてより実質的な意見交換が期待できる。		
セミナーの運営組織	日本側開催責任者と交流相手国側開催責任者との間で綿密な事前打ち合わせをした上で、相手国側拠点機関所属の研究者が本セミナーを企画・運営する。また、必要に応じて日本側拠点機関の研究者がサポートする。		
開催経費 分担内容 と概算額	日本側	内容	金額
		国内旅費	50,000 円
		外国旅費	1,800,000 円
		謝金	100,000 円
		その他	50,000 円
		消費税等	95,000 円
			合計 2,095,000 円
	() 側	内容	
	() 側	内容	

8-3 研究者交流（共同研究、セミナー以外の交流）

「平成25年度は実施しない」

9. 平成25年度研究交流計画総人数・人日数

9-1 相手国との交流計画

派遣先 派遣	日本 〈人/人日〉	タンザニア 〈人/人日〉	〈人/人日〉	合計 〈人/人日〉
日本 〈人/人日〉		10/ 165 ()	()	10/ 165 (0/ 0)
タンザニア〈人/人日〉	9/ 57 ()		()	9/ 57 (0/ 0)
〈人/人日〉	()	()		0/ 0 (0/ 0)
合計 〈人/人日〉	9/ 57 (0/ 0)	10/ 165 (0/ 0)	0/ 0 (0/ 0)	19/ 222 (0/ 0)

※各国別に、研究者交流・共同研究・セミナーにて交流する人数・人日数を記載してください。(なお、記入の仕方の詳細については「記入上の注意」を参考にしてください。)

※日本側予算によらない交流についても、カッコ書きで記入してください。(合計欄は()をのぞいた人数・人日数としてください。)

9-2 国内での交流計画

8/80 〈人/人日〉

10. 平成25年度経費使用見込み額

(単位 円)

	経費内訳	金額	備考
研究交流経費	国内旅費	380,000	国内旅費、外国旅費の合計は、研究交流経費の50%以上であること。
	外国旅費	5,400,000	
	謝金	400,000	
	備品・消耗品購入費	730,000	
	その他の経費	300,000	
	外国旅費・謝金等に係る消費税	290,000	
	計	7,500,000	研究交流経費配分額以内であること。
業務委託手数料		750,000	研究交流経費の10%を上限とし、必要な額であること。また、消費税額は内額とする。
合計		8,250,000	